の作順を封する寸能としては り消しを策する場合は、近に簡単的中の協立ことできる認し、既認 らず認識を引進は、脚が法案の鑑的中の協立ことできる過度なき てゐる、耐して政策側かどにも構飾中の協立ことを希望し、 であるとしまるとしては感情を対している。 日野はしを発明すべきであるとしまる。

の作師を封する寸策としては

は逆撃し壁い情勢にあるが、魔車を織り、台法的反射方法たる議事作職に出づると降へられその連命。資料を整備し証明の風雨なる進行

持してある、而して同歌に動して 寺内陸相が

むなきに至った」との日質を興

强硬決意

は一部政策方面に於て審談未了の

陸軍常局では同策が変多の武隊を一などの観察法罪状、臓に異算等は一

歌するものとして歌手解散を歌行 は『紫遊駝は歌麿の**聴能**を自ら否

延長といる如き非常手段を離じ、

し、廣く民意に聞ふべし』との量

遞相が苦境に陥れ

、見殺に

よつては本間とは重大波瀾を選起け、決心を描いてゐるから、体簡明い決心を描いてゐるから、体簡明 は『城じて是殺しにせず」との帰 **開業について苦境に陥ることあら** 政策に於てすら民有國營に反對の否領が可なり濃厚で

常識版をたる膨脈だけに、第七十論語に於ても発革衆と共に第一重要な庶職一等其語案として各方面に於て賢否 2の態度を見るに光づ頻性木巡相の田身覧にして、興新的色彩設設職のトップを引るものと緊急される、即も本間型に對する各

り、駅に軽伸木螺相は本素通過のためにはおいを貼けて返消するよりれても次には更に强力なる鋭耐素が出ることは必至の勢にあ

の荷荷藤に船客の羅腕を要求せる巨はスペイン政府に對しメロス戦

公式コンミュニケを以て越表した

ヲ艦隊司令官は、五日巡洋艦ケスペイン領海に派遣されたドイ

の避解及び避罪促進を図ることに主力を正く方野である、心して競を通過するものと見て、たと戦闘末手に図るを避けるため各戦

ペイン既所願照はパロス號を関修

|同語| ドイッ對ス

ドイツ政府は五日ドイツ機能が令として急激に悪俗するに至つたが

最近我國內外の領勢並に指力問題の本質から見て一度本案が罪り

着々反対解容を聞めつつあるので観察に於る密波如何は穏々に像

間常力業諸間の反射運動が議會再別を目指して漸く深刻となり、

釋放な要求

け議會所頭提出されるが、取内閣反立以来最も

議會のトツプを切

猛烈な論戦を豫想

修正の上成立

に選まるで否や和常識的の保地を駆してある。 現に最近に乗り民民勤の深速を漸く落体化し、その他音がにかても民有國常祭支持民勤の深速を漸く落体化し、その他音がにかても民有國常祭支持常識の外定は飛出困難報されてをり、既に成女常に至つては最近常認の外定は飛出困難報されてをり、既に成女常に至っては最近常認め、大学に表す。

及對意見が濃厚

困礁と見られる、即も同業の反對 にするのである に、我が全産業に重大影響を及 に、我が全産業に重大影響を及 に、我が全産業に重大影響を及 獨軍艦監視

【ビルバオ四世同盟】ドイク海軍 | 出意を整へてあると云はれる | 知り日本 | 知り日本 | 知り日本 | 知り日本 | 知り日本 | 知り日本 | 和り日本 | 和り

府は可衛王坂を謀じビルバオ北岸の最後王段に対抗しバスク自治政 に置きドイツ気鑑かれる少低物紙一帯に日間数門を設置無軽を融合

覺書調印 十二日本府で

存立はッとしたやうに訓き返した。も何かの単縁でして

「何んおやとり」

での頃は矢骸に物騒きでござい

わたくしのでうな女が居りまして

ら、さぞ和前標に御迷惑かから もしも機家のお方に切れまし

新

發賣

級 人用 (III 第2版)

普及藥

一元九〇

「でも和偷」の断線な浄いお表にも何かの単縁でこざらうのう。」

世

力流制をおなすととが出来っ て優健で腕期的に英純南國の期间「完全に一致したと質まわるり、周速の運打を行び、 て大向客を譲するが、情能隊め した結果、獨世南國政府の環境と政格の現の関係の関係の指令低下を行び て近く向客を譲するが、情能隊め した結果、獨世南國政府の環境と政格の規則を設け、實施の運打と政格と政格の規則を設け、實施の運びとな 熊州國政府の規則規範にかくる尉 してお果、獨世南國政府の環境と政格の関連を表現してある。 たにイタリー政府は国際可能を政行、實施の運びとな 熊州國政府の規則規範にかくる尉 してある。 ただれなり に取けに関 一取のため空海洲国交通形大臣は来 これに作る技術批判が間の登職調温度となつてあるが過程河川協定 る十一日午後二時卅三分京城縣者 **南總督との間に調取を行ふこと** 帝同人城、十二日午前本府に於て のぞみで平井出交通部級が司長を 監の新京行きによりて批批をかけ 裏軍部令国の開盟によつてその世 を加へつゝあり、蘇顕大野、猪鍋 批画一如の具成は南部質、施山脈 堂の本食標の下にもやんと納めて たものがないといふくらる豪敬つよ何んとか云つての。誰も姿を見 へ出て來たと申すおやございませ ますからねえる なんでござんすの のところは気温ひには及ばぬ。本一にも及ばぬわら こい奴ださうぢゃが、しかしわし うむ、それは聞いとる。かげろ

用ちやよ。 萬ケー根家の都に見付いやく、 左縁な心配は一門無

頂け申したと、から申、吹る武家の御新遣を

少しの心道に

ター・政府は十二月世六日的の英一好の立場を明確にするものと同(ローマ五日同盟) 顧問するにイー提議を受験し、非せてイタリッ

英佛共同提議を受諾

伊が近く回答

ドイツ政府の最後通牒なるも

心してみるからドイツ海軍が伝路 ベイン左翼跳艦も鹿船像覆の見 **より
軍艦一要、潜水艦敷髪を用** 省中一日午後一時空急逝、省中一日午後一時空急逝、

大地支黃

に決定した、政府代表消は五日夜 告に對してバスク政権はあくまで一

監機關を動員して

獨の孤立化誘致

強硬方針を堅持右路告を無視す

正月も早や七草を迎る

地下資源の開建、対與産業の の誘導等々、山河県々、

し地間らば支那は幸甚、東洋平

相の骂にも欣幸、されど樂脈は 「ほんに、それならどのやうな者

一部造ひはないとも。それに第一

御陀如来が守つて下こるからの。」ざいますし、このまくお話へ思い

「和何様は、ほんとうにお仕合せ に越した仕合はこざいませぬた。 一亡き主人の後生を罪ひたくもご 頭くことが出来ますわば かから 好都合。

わしに助けられた手削も、また仕一緒だといふても考が近りる。 必ずつわしは仕合ちやよ。その仕立な」と。 よんど展却の場合は、俗様の 一そりやアもう、わたくしはこの て下されら 典に触へ行かずに、長くことにも 一そのお願ひは、 一それはもう何んの能作もない。 わたくしから

「から話がほぐれたからは、少し こす

時

用量

--- - 回 0.1-0.2

誇るべき治療の特長

人はつひこの吞亡くなりまして とは申上げずに居りましたが、主 「わたくしも、質はまだ委しい

用 法 閒 一回二分 安全簡 し間

人は亡くなら い身の上でござ

奇仏研究の影響が描で推構した本観法にして始めて 統消炎政権収録力と前記職力な保存性製団力とを きを證明するもので、その上域比略で治るのは、特 治淋の根本たる病原を破壊し膿脈を除く力が明る強 強く、されな医院の求めて止まぬ漢行体制度が貼ち 本剤の出力素プラオン配は、されを優性能に使用す 右配の掘く倒れた骸挺にて脱痢を賦出脚に治胞する れば一時的に記憶に戻し治的を容易にする程度を対 見る効果で、救餓力だ

吉原病院長 前東森吉原遊**邸** 佐藤榮先生

發明創製 然であります。然も絶 底比較にならぬのは割 けの従来の治既とは野

+

殿不供地群な時所要 置される様学量の使用 選して、循環派制器丸 で光分効果ある場。一 無人、職態」と至く相

炎等の危機を安急に監 期に急性、用を促出共に 網送服作用なく肥

ラブ

機師の揺ぎなき造に批 備力皆無の内根薬や間 最少の悪闘で最大効果 本から治療が出來ます 世界的に質認された概

ギンオ

長らく使用して全治の 見込み立たの機能患者 形権人座標で注入機を

ン

400 類に迷ら初熱深肌者は

展生の裏びなく熨犬な 将類を使用せねば一生 短期に効果的中する治 金銭の世失は削かです 本語の如き最少悪値で

代用薬ナシーB東製薬合名の代用薬は応じてないたが、

人の軍人(約至日散)十一円五の軍人(約至日散)十一円五の軍人(約至日東)七一円 東京市芝羅通新町十二番地 後代原度 (14 河原) 南店

文献 全國舞店にて販覧す品切の前は直接網代理店へ 進呈 日南海域岛内岛地域海田 電話三田 (一な八大番

「はい。では個別下さりませい」

一種型の方へ寄り並つた。

7

路もる番かり

ほ

の遠鏡もござられっすッとこれの

年の半島貿易總額 を如實に物語る 二億五千五百七十餘萬圓 万年に

比する

ご約三倍

新記録を創するに並つた、本析態表による十一年中の関級組織は関利十一年中の明維企業界の観測を加賀に物態る朝鮮関級は登に 移出五億一千八百四萬七千圓、輸入一億一千四百四十九萬九千圓 即で個人を除く外輸出、移出及移入は何れる過去に於ける最高記 2人六億四平七百九十一萬七平則で、入超一以六千九百十萬三千 当于五百七十二萬九千圓で、輸出七十五百二十六萬五千圓 2約三倍に進してある、これを鼠肌酸に見ると、昭和六年の権移出入總計五億三十二百二十六

れる(貿異は寺内陸相)

発あるものとして注目さ

日期沿向工事数

嚴重抗議を提出す

ば軍大な結果を誘致しやら海において依然干渉行動に

金世 美國七日

面部園境におけし、四日午後三時には第十七號先

「大大日曜原英二地縣に戻ける子法」内に添入せしめてゐる年實を確は、即と昨年十一月世四日縣月縣、周一○不法財總行為は蘇徳能な忠治のなりは演常局を抗議せしめてゐる」を難し釈迦したが、右の如?蘇喩 地断に於ける蘇聯兵の陰襲不法に たが、最近に至り父復西漫画員と 野戯は、一時終熄せる如く見られ せる如く見られ。麒麟兵は小銃の猛射を浴せかけたる蘇麟兵の不法。標的更を巡視中の海軍將校仁對し ので、我方も之に際師蘇聯六二名

場が線認され、本手に入り二月午 | は蘇聯當局に對し嚴重抗議したが 八時十五分の三回に亘り京鷹敷島。て蘇繆側に巌東琉竈を提出した。 に對しボクラチナヤの日本観書館 んとする誤略なること明白で、之

獨が最後通牒を發出 客を構成したい集合には、ドイドイツ汽船バロス號の積荷及船 汽船アラゴン及マルタフンケラッ政所の子に揶揄中のスペイン 整を名に米國に働きかけ、 既所は海虺の重大化を憂慮し相互 「新果、庶上職盟機勝を動はして 個別化するに至ったが、英郎南國 外交地間を通じて特策を協議し 政府の確立化を誘致 を認って南西南国側黒は収

立はおほひ鑑い

第七十五潔館は五日午後岑梅二分【ワシントン五日同盟】アメリカ

其他この建物を各種の館合

歌呼しつい非常時に精励せむ

世界の不安を外に、われらは一

節双方の資料を原列し内部 たい、風俗墨考館 創には古代文化の遺品は著 る施設の二三を提案して見 が、風俗香味信の等を手 のる、敬神修養担場で 譲る資料に乏しい、内

時間開頭館神宮を中心とす

西下の馬塲藏相に語る

125

施設を担案 人一話 曲に依る神祗教育等にも用

危いところを助けて頂いたばかり

関する影響を聚め研究の便 既は併せて刊行の都度有志 り二千六百年記念脚業とし

通過は困難視さる

今議(曾は相間破別が

屠威機器に浮かれ各所を吹み到つ

の助手率様元右(こ)は五日頭から 豆城太平迪二ノ六六江森海科登院

若い歯科醫の助手

留守だったので隣家の人の聴援で

新町界隈を楽道し行光を告げぬのに人力叫を讃まへて楽時約二時間たが五日深史泥酔し即逆不覺の儘

て國境慰問へ 收益金は擧げ のためなら水火の節ゼの火消運中 都長の全員に輸了列の間いて羅頭

過程可以、次いて表別のを行り、認識から練る方域が観光で決を増加して「完備に労力しての水を飲み、次いて表別のを行り、認識から練る方域が観光では単年、近の機構を重賞、歴史体でどの消跡域出版のない。次、 説信町、鷺楽地でどの消跡域出版のない。 カーガンを駅げて大京域を、火・ 説信町、鷺楽地でどの消跡域出版に終えつた標業、消子を消びれば、。消すより出すた火の用心。のス (登師、建十里、現気町、大観町、に終えつた標業、消子を消びれば、。消すより出すた火の用心。のス (登師、建十里、現気町、大観町、

| 空の脈の安定をはかる地上の連絡 局はすでに観客を完成し、「十郎」 行機が弾上で銃路を譲つた場合は

干値で無流機器の据付けを行ふた

めすでに機械の建文も終り到着を

横瞰機の河過地點である江陵神合 かくの如くして裏日本と北鮮の至年のばかりとなつてゐる、さらに「を安全に網漢することが出来る、

を安全に緩進することが出来る、からラチオピーコンで祭中の機関 態殴鳥から直もに江陵に結び

江陵無田局の建設等者を待機の

定真說明

初成ない社館(下石)分

左)川切氏の藤様子栗 列式を配する問題質(下 品域の追跡出現式(上)

置し江陸無常局と緊張な連絡のも

備へは今襲中には完成し九月はじ

を結ぶ日本海横鰤飛行の實現への めには明れの試験飛行を見得るは

とに航路の安全をほかるべくこれ であるため同島に服易無限局を散 の鬱陵島州近は濃落策く至の難所 も滑進飛行地の整備をはじめ海上。を則することになった、小陸無電」の設着地路に通報するとともに飛

解氷期にも熊若陸OKとまで完盟 を刻々に江陵を通じて清澈、松江

着々剛備を辿めてゐるが生島側で

本準鏡館は岩紋会散は日本航空で、シクリート滑走路を完成、冬季結(便を完全に解消し日本海上の演験の不満機態は開い公を一直機に管学日、十二年度素学、新発州に大いです。の江麓間との海底電信・回機の不なつた明白十二年航空日本の肚壁。和十二年中に墨内の地向しを終り。る、黒霞島の無電光底の上は地伝

状十月を帰して實現することに

姿勢にある。まづ清津飛行場は昭一下野郷で基龍派の作成を急いで

九月初めには試験飛行の豫定

開設準備着々進む

十二年の明に出め『呉至終』、そ「紀二百名の消跡成を常備、本豊、「湯有用卑」別等によって正子昭和「四月府城協議以来定議を増加して「忠

京城全消防著は、生つ棒な法被の 官その他本所各局長臨船のもとに

六日京城间游荡出为六二郎四卅平 の遊房前時組」以次石坑七氏(き)

大石氏外五名

防和行所可のは影響用防蓋

高を吞光に埋せなが、除河を組み長の指揮の下に磨き立こた最色の

し湯石田郡から銀杯お

光づ新春清道に示く国族を周揚、

令旨 奉献) 汝、下村鉄築

の災禍

殿り消防出初式は六三年前十時半

から京城公園堂では民多歌を描い 防火ナモを行つた、なほ午後二時 の陣を掘つて京城の街々に豪華な

勤續者表彰

七野 (初起) 小鹿山司令

京城の防火陣威力を發揮

新春·吉例出初式

十二年度は毎に計上してゐる、之一助することとなったもので、近く

北鮮と裏日本を結

十二年度か・線線接着機構動を与支給してるたちのを関単より撤しこれが法文化につき観覚中で初等でも観賞を直右て来たが廊と昭和しため、その資源家も選択を設設する。直の決地に発むることとなり目下でも観賞を

臨敗後、新府城京経正路の散散 して五期に分も第一期母業は約一 穏間出業でこれを五ヶ年毎に賦分 世までとして初平迷の昭和十二年

市価地部設置工のを投じて實施する

年の翻選だつた

合し線八百角側の無数に再に着手(好景なを貼することとならう) て五十二般に対し、明和四年の三中央部数計場、清妙証券観視等を「百萬人に遂するので来你有の翻進「七代、一昨年の百九十九代に比し中央部数合と選擇達要は、祭器總額の「これに娶する宗協・皆に匡人政院大」が内に選上したが実代教は百四十一般親の企理権達要は、祭器總額の「これに娶する宗協・皆に匡人政院大」が内に選上したが実代教は百四十一

勞働者だけても 八百萬人動員

合し約八百萬國の新規工事に著手「好景派を呈することとならう

紳士運ちやん養成へ

京畿道保安課が乘出す

就業免許は人物本位で

部では従来版選しいので京議直保安!

内地六大。並而及大連市等と

的防火質像に乗ってこと、なつた

を制げけるの出初式を開門に大さ

明朗教壇

教員の疾病治療に國庫補助

大助機騎も設け

地部では世五ケ年されてゐる、市低 異点の便不力像的 十一年一月から十

> り風でラツシュア 並るところ引つ張

> > てゐた就業強許側

6年壁自動性が増 内に約六百融の3 一月までに京城を

ればタクシー連解りています 手の横線が鳴らさ りも人物試滅に重 りも人物試滅に重 とになり、技術よ

雑士運5でんを養i 膝を置き、天晴れ

成することになっ

原因は自門する他自農 っても一月が断然的

京城の市街地計畫愈ょ着工

分年度は八百萬圓 バラ撒く

る

八日擧行の観兵式 参觀者一萬の豫想

制らず何のために自殺するのかも

ですから気の様な人にあげて下さ

ぜん息・神經痛や

·高血壓

让在獨樣

は胃山小學校三年生箕田曜つて行つた、この歌心

お年玉を寄附

小型技四年生間田孝政我(こ)兵事子さん(*の)第正版者(ぎ)と南大門

も あるが、生館く大製及び第正製門 早くも参加部の役割が算想されて る第世』附在祖当隊の陸軍始め観十一時から遠山洋兵場に展開され

軍都福山の新春を撃つて八日午期 大倫卷を現出する機様である

九日のお野すぎ京城西大門署へ可 金を浴せ集めて一園札四枚に代の

一組の姉弟が四人で訪れ、てもらつたものである

は七草正月、内地 復古調はやりとあ では非常時正月は 【仁川電話】七日

おめでたう。端書

八十六萬枚を突破

今津博士・新しい研究設実

今津博士・新しい研究設実

大概が使されて記さない。

一個の大概ができないで解析

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、決してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「他の、表してで語で

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「世上歌歌の所述の説法、表にと

「中上歌歌の所述の説法、表にと

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の記述

「中上歌歌の所述の説法

「中上歌歌の所述の記述

「中上歌歌の所述の記述

「中上歌歌の所述の記述

「中上歌歌の所述の記述

「中上歌歌の方に関する人は

「中上歌の方に関する人は

「中上歌の方に対する人は

「中上歌の方に対する人は

「中上歌の方に対する人は

「中上歌の方に関する人は

「中上歌の方に関する人は

「中上歌の方に対する人は

「

になって来た、

留の研生に能べられてあるのも感られぬ人々によつてこの目が観念 野では土棚、正月や七個理論が記

一 見弄火六件などは見速せない事 れ 関連研リアの一 のであるがこの中放火六件、小 即 のであるがこの中放火六件、小 即 のであるがこの中放火六件、小 即

の破損、残口の不始末によるもの

が州九性では然トップを切り

製校などはまだ体験中ではあるけ

れども、既に参照申し込みをした

(除に達し一位定民交鐘の華やかな) しい新春風景である

製好を売してある、運動歌も一昨百五十二世に比べると質に大関の

中)は四十五萬六千三百二十五枚 時を期し一層に配選したが、投封、十七名の配選犬により元月午前八

八判町一○一李圭珪君(せ)は危。 - 材木の山

大川氏追悼會

一時、左記本會に出頭されたし、試望者は履歴書携帶の上、來る八日年行政」のために、年爲の記者を募る創刊、新に半島の言論界に見えた一新聞。法により、母師の言論界に見えた一新聞。法により、母師等難誌として

北地の風石同

製造を観測るものです。と参信

金般天氣豫報

館職を長大川平三郎氏の本野は八 **出東京
建河本願守に於て行はれ**。 題、十二逝去せる朝鮮観点様へ 八日博文寺で

日午後一時より博文寺に於て追悼

自殺の遺書

準決勝に

実かし入城縣前大京飯館に正宿

培材勝つ

川生れを大市子代田通り 門内山破男者であば三日 所成解に何事も告げず

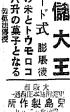
電宅セカので不審に懸ひ同人のごりと出かけた最大日朝になる

風間「時最少し寒くなる[明日]北 (二川 地方 【今晩】 北西の (二川 地方 【今晩】 財西の (本の [明日] 晴寒い 、晴れ一時量少し寒くなる

る河の遺配があつたのに獲き際。 培材高度と首北一中が貼ら七月年(生下生度五段語)ランクを調べると自彼を「は五月甲子制度距離場で発行三局」元月19年の東京校のアイト度等のでは、「東京の日本の日本語に思い同人の「全国中等年校のアイト度を開発し、「製造の関連の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造の関係を表現して製造していません。 中等ラグビー

市販大一通程正本部川淀別 所作製島兒















社會式株造酒西小 強 押津报



テ普れ科中と調の生布 ルポる日胡きのあ面が ノの一切代銀除のノれ

の表準給をふりまくこととなりました、「忘れらやいやよ」は建態的な精魚的なりますが、意と来る九日(土)夜七般劇的人質に包まれ日産べで醸飯中でありますが、意と来る九日(土)夜七般劇的人質に包まれ日産べて醸飯中でありますが、意と来る九日(土)夜七年の畦沼に歌行脚中のピクター撮影選行歌手渡邊はま子殿は大連常餐所で

はま子嬢唄る

座にのしより先輩スターはその膨をひそめた限がありますが、この人気女王

スピードで日本の準々部々を風靡、渡邊はま子の名は既然わが施行順

資金に客削することになってをります、常夜は渡邊機の蜀唱のほか **期待下さい、この海鳴館は本純砒館事業賦の主能で収益金は繋げて國境時が愈上暦きのかかつたノドで大いに新巻の層礁資分を漏り立てるその夜らが愈上暦さのかかつたノドで大いに新巻の層礁資分を漏り立てるその夜ら**













一番 を脈懸し、その原形形を側がかルモンから強力な

選ばしい機
队には
だいた。
変成しい
の
は
の
は
の
の
は
の
の
は
の
の
は
の
は
の
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の
は
の

で観察しているのです、欧がに悪化なく明らずら行い。何の五能りん際に合作をりませてがあれた。

藥丸方漢純

で、前端単位の異対を続いて前端が不 原因をたす適つた地域を単化し の関連をするので地域を単化し の新聞きな、動物と で、前端単位の異対を続いて前端を ので、前端単さび、動物と で不翻話も

能配病、**脊髄炎、**感育大典等で身体 から良くし

此病気は商煙草、花掘病、質熱病」に依り治り難いつい

w 京進躍 座王の地宅住

張り間五時被敵したが、同日改彰

一時から雅の家で襲を

四日午町十時大田器に集合し同二 大田 消跡組では信仰により

と翻譯、第長期が、來致祝辭、組 かりて保密子後二時から思致都では解析、如此就找、全官奉顧、股空及權、小野祖知の名称、原都等の翻譯、十一時大田羞儒外、大部 ありて保密子後二時から思致都で、原籍別の監督、 原籍別名の翻譯、 大次電子後の 一大統領を提供し

十時から十二時までは国内各所で

が光づ國旗場場についで合同

(一人)が同町第三周|名菱の財金通帳| 五十国 不能と見た案内係の事務はか母嗣 【季山】四丁午前九時半望所內大 | 消防組成出動し同十一時に

預金を出しに行き

局員の機轉でお繩

れがため斬も石炭も

昨年より安くなつて今年は思

2

薄氣味悪いが有難いです まれた年だとスラム街の連中 て何時まで お脳で今年は一懐の事故もも概も?ありがたいお天道樹の りません。とのんびり

別消した苦し紛れに自分で斬りい れたといふ左掌と左脇殿の傷は流 六に被断者昌服郡天華直天城里金 華田署では直に非常手配を行ふと 一山(こん)を取調べた所、城に斬ら

不用意な客の戯言

集金を使ひ

拘留廿九日集金を費消

【金山】塔藤原分の米だ路段四日 窮餘の苦策 許されて服舎自殺をはかつた妓生||蹴つて路宅し口惜しさの餘り同十 【半選】客から馬面そつくりだと話 はれ新年早々縁起でもないと座を 妓生を死の経望へ

|時頃自分の異間で阿片を飲んで自

漣川の初火事

では吸かやさかいにお蔭さま 形内の料理量の話は今

ことホクーへの態、暖かい年

は料理屋も常り年と見える こつとくでせうか、測熱所

の飛得に探知され取抑へられた

投

一関和を仲間の名食少年に分配し の切れるやらな百個化、十個化、 の公園で芸聞の側で名食少年が手

【発出】 壁のやらなインフレ最近

てあるのを騰削渋出所の警官が確

港の

フレ

べたところ、この少年を遂は本継」をみたことがなく司具のお札と思

一般して液出所へ連れ込み取調 しい紙幣を拾つたが、異物の紙幣

館の上から開の海中へ飛込んだ男 があるのを監視人が避見し水上署 [董山] 亚日华斯亚牌华切着山大 身元は不明

質は籾代横領の

とんだ芝居と判る

母許その他不明 豫審終結し 公判へ廻付 【清燉】県蘇京分の壁めやらぬ四| せめて正月には暖い御腹を食べさ

一一味六名に係る所謂上海血盟競革 既に要切り同志を暗殺した異常施し「漢州」有害元上派公使を狙撃し 他所へ出頭し島政院街道を郷里に

縦に繋は丸所持金一千五百囲を掘土地内で差銃隊の兇器を持つた强 人騒がせの間は强強と判明し 午期十一時から暑晴内で市内極控ので今年は謹上げて新膳大晦日の

舞展つてご用

遠穴萬八百八通(期年四萬三

瑞

郡

學校

生れ状葉(で)は所轄光州署で各方を説管選正した犯人長城郷北下面 川面西郷里に舞ひ望ったところを頃に手配中のところ、このほど松

四日午町九時から多佳学版書

~ 賴母しき義勇奉公の精華よ!

梯上の妙技床し麗はし

自民有法を扮得観察を扱つた

院観では餐館合岡に第一、二部資

者長の則示、東質の視群、受所者

助労者の表彰を行ひ引続いて消防 戦の臨席を得て盛大に奉行、組織

午後一時から署則大阪塩で官民多 佐世保、橫須賀、舞蘭 世祖 張 所 出 張 所 載事 道院組の出初式は六日

ポンプ操出、分列式、放ぶ演習、関棋式を単行令旨を奉謝し監檢、

内山野祭署長の訓示脳に講評。

で整行演習、同十時入場式、

同八時小學校園

太田秀男

廳職員品

船業

田

卓

禾四面職員一同

西語門十一番

御料理

梅

八道幸の

園 計代子子家

展信運送店 建发店

男

祭署

同

制料新理

清雅

香

京城 出張 听就 赤尾保商店 五時からさいなみがで数が数を

許四

洹

屋旅館

會

瓣

土

矅

會

電話四十八番

他に参拝し野人監領、假遊河野、他に参拝し野人監領、周九時半神

連川四日午前九時繁耀の合

瑞興公立普通

闽

司

祭署

茂山金融組合

一同

東満

江林業株式會社

あり午後一時から明題りを行い 前に番拜し臨其臨檢、假裝演習、著長の辭評、訓示、來實の記離が 一公館堂で開展、その路上本年五月

があつて引取き同日午後一時から 質請氏の記録、宇都宮祖顕の答案

軍順田田

祭署

會

寧

郡

廳

闻

機能検があつて防火災費を行ひ終 つて午後一時雄其座に集合、令旨

貝

錫

弼

間

島

貿

易

曾

.i<u>k</u>t

雅 新市

御

理

美料

版

北

會

郷し

副組頭の機関があつて武を閉ち

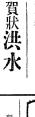
、式を終へ財勢望を張った 令冒溶離があつて脂肪

金

泉郡廳員

同

大金を拾つた乞食團が弄ぶ



超高金金金文山李幕 山李本 四本 本 四 本 阿 斯 阿 克基 承 正 炳 版 一 本 一 大 顺 京基 承 正 炳 版 一 素 版 章 繁 题 祚 均 鎬 俊 铁 郎 燦 業

道

職立

金泉醫

息るに引送三十萬六千三百八十 「群山」 推山局の本年賀状の扱 三共釀

在察官

金泉警察署員一

所

内通であつた

【島牧院】 那個二十日から

鳥致院も激増

罪淨

陽常

原 最 長 釜山遞信分掌局 教職員團一同

司法官生酒の傍らコ

釜山府水晶町 Ш

員喜 一三

では、自動は実際 (100 man 100 man 100

同郎 善文藏 新幕出張員詰所 四畔合同塩紙抹式會胜門城支后 袋 間罪 光 凱 ○概述 新花代行鄉所 代波者 澤 崎 末 松 代波者 澤 崎 末 松

新幕釀造語會社

金 尿 金 曜 會

同 同院 邑

金

泉

(も色曜间様に書いてゐたが) 苦しく、嘘る日にはひこと~・ えいった。 質原は新聞歌も はしたものゝ、春部にはそれが心してものゝ、春部にはそれが心

全邦 ピニユースや

玅

本に能能である。 一般のでは、 一般では、 一をでは、 一をでは、

延腰冷え込み、頭は熱持ち |

息切れ、耳鳴りや一

不順から神經痛を惹起し

交恩神器

神經シふる血

ふる血療法で血行を良くすれば

頭はサッパリ丈夫にもなる

々痛みに悩む人が

ふる血

東部に対しては、10世界の を変か、出った曹の軍権が権力が を変か、出った曹の軍権が権力が を変か、出った曹の軍権が権力が を変か、出った曹の軍権が権力が 大の取成から自然と眼帯に避りが 大の取成から自然という。

をさへ削られるのであります。 悲むさがシッカリ微へて風邪に これから







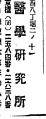


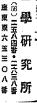
旁々継続を申上げますので、その後 ましたが、大優 もとで突然床に臥れ事数戦前の冬 永年ののぼせ、めまいが薄らぎ

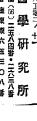


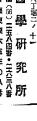


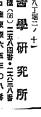




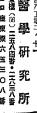


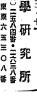






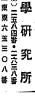




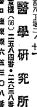


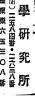


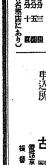


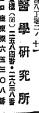


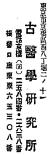












六十 **醫學博士御推奨の葡萄酒** 葡萄糖・果糖に依る天然甘味 養効果のある飲料でございます運用して頂けば素ばらしい 榮の方は勿論 健康な方も 日々 赤玉ポー から醸した純良葡萄酒 トワインは完熟の葡萄 御病弱



夜

眠

方

りと眠りに誘ひ込みます疲れを取り去つて、うつとた脳神經をなごめ、全身のの一杯は、疲れていら立つの一杯は、疲れていら立つの一杯は、疲れていら立つ

と眠りに誘ひ込みます

え 性 冷込みには赤玉ボートワイ 法です 血を増し血の巡り をよくして 身体の中から ンを召上るのが最もよい方 ポカー~と温めますから… 方

御 に導く薬酒です 不愉快なをも根本的に改造して健康をも根本的に改造して健康 病 身 方

一路健康へ!

を連用して 病身をかこつより

養滋



望の高嶺 一の如く默々

投機に耽らす

正業に邁進せよ

割滅の成績

• (a)+ 0 1 工工免费

O 9++8+8 -8++8+8

年度記録より

一千萬圓減

腓内骨気の好調を反映

東拓の

一月八日より本社 轉向會議 支店長を召集し

重油問題を続る

水産會の諸對策

2 2 2 2 5 8 6 6 6 \$0.51 | 80.51

先中證

人七九五四皇

 ν

では幸い形です。



門の原動であつた

日そのまくの步武党々たる保行演

になることとなるので、寺と相直を皆様せるのみで職域一新の

行師性の側近、胎成一新の質切り

義務教育延長

百相、兩黨總裁を訪問

鋭をすぐる

獲田首相の触郷方頼、任田外相の「産帰真西に斉献交逃鈴を開いて戦」の重天堂に蹇み陳朗縣旗における「は小宮恵二歳に日火によつて議館

の軍事整理につき軍政部は本目左

住せしむ 仕上間を映画条郷が宣君等に移 が解などに移駐せしめ極前如の

軍事整理を發表

機嫌をとる

の市况

申報社

國政府がフランス閣 型の決定に最

英佛は超然 な影響を懸へるだらう

させるもの を餘議なく 獨逸に進軍

幽際聯盟から

|単極を辨徴として強烈動射は「イン珈地に辨道するに決定した。リ大日登字献特置」||海連商船||二名を派遣、調宜員の名目でス

イツは一發の彈丸な

中東歐に制覇なし得る

佛國閣議に 影響する英 政府の態度

の公前を撤回される魔なりや否や

推明 のでは、このでは、 のでは、このでは、 のでは、このでは、 のでは、 のでは ○か▲本年は大 等 寺坂吉 高門 松曜 の の 選挙 文 七 元 結 伊東 落 語

中山 徳見子 ヤンド (大工美暦子) ラーション日記……越松F等子 モデル日記……和泉平雪子 ・ション日記……和泉平雪子 路々傳(時に常期所の質)

田哈維人哀歌

本社記者募集

の學校を挙 月までに帰

社告 語することへ 長、藤原御長

は光にウラチオ防船仲落一郎氏に「を行つたか、二日杉下ウ【포原恵語】蘇 縁近カウラチオ(後遊) 對しスペイ螺旋により

不法にも拘束

スパイ嫌にをもつて同じを拘束し来のに川頭したところ蘇城で趣ば

浦曜蘇官憲の暴撃

乗った一日から ができる語山、 ができる語山、 ができる語山、 ができる語山、

変した…… 山本周五郎 山本周五郎

する中央の方

に付する大優農業移民送出と一即も中南米移民會社は資本金

♣三十 链

者のトンチンでがしたのか

し、「自己の身體を相米に

兩國の取引關係間で要望 協議してある等近く何等かの形式

雅なる手数を要する質問にある、から資金の移管手続きにも相常継 するのみならず昼春管理上の鉄路 においてのこの運動が表面化する ものと見られてゐる

の設定其他によつて漸次基礎化さ

いあるが然も朝鮮と崩溃をつ

数多の支端を超くべく、紫に作品は将来に於ける軽端取引の起映上

有する誘連は同方面の映路を除去

れてゐる、死に鮮内の各種質

注目されてゐる、同社社長は取締郷去に伴い同郡長の後任常如何が郷金に伴い同郡長の後任常如何が明節跋進僧社・社長大川平三郎氏の

三郎氏の一の策能列艦の営東上中で之を場合 行はれてある機器である、配してに東京で後世代長の絵館は命っに

大株主東拓も重要發言の模様

役館の互選によって推薦され歩主|朝藤の大塚主には東拓が十一萬二

總確を必要としないため近く重役
| 干様を有して總検証の十三元を占

樂

講

錄

慶詢北道

慶

州

造器會社

開工務 行所表面了至三

斯勒 新 新 新 所

代占士吉

긔.

器前北道

清道官公吏

理事十二日

靜

雄

山松松林富柴北池石崎村 四湖村山田川田梅 大湖村 古 東松 泰省秀 哲夫一治武祐馬藏郎

簡を開催して正式に決定するもの

定されるわけである、日下新田、

奥篠、野田の常任三重役は大川氏

米移出本格化で

海連市況は好調

置性を行つた後重役間によって決一重役の部隊も必要とするので新姓

来工場の復復工事を急いでるたが 鮮製油の清津工事は昨年音続失以 北鮮製油操業 三井糸北

果して誰に決まる?

長後任

●昭和十一年度肥料配給特別會 ・理度に別様の登り組織することに決 ・理度に別様の登り組織することに決 ・理度に別様の登り組織することに決 ・理ない外域。 ・理ないかいが、 ・理ないが、 ・理ないが、

朝鮮農會總會

會の賦月器音蓄秀優

京麓道では今秋十月小作規約の東新期を整へてこれが薔薇が 東國債市況(県

江豐

華

震食

量量

ŽĽ.

華

敎

育

威南

甲山邑

T

矅

會

松景

井

文

輔

京城附外壽岛水湖池

郎

夕刊後の市况

上野行通りガストラーを設定を対象の方式の対す中心決策を超なりと思想を選集を対象を対していませた。

慶山水利組。慶山郡農。

合會

Ш

郡教育會

松茂精米所

鈴木 農

塲

置てす

森信汽船聯會社

戸型 式株

會

常雄社

唐 僧

津

農

婸

電瓶 八糟

大日本家庭。蓄音器製作所

旺盛なため例年より情況を呈して一直金に於て二自三十萬一千回を帰 月が資金回收期に相称せるためで

全日本籠球選手權大會

観磨浦よりの米、無煙炭、原鉛、 める、福祉特産物の国下・引和き一川

配好講を辿つてある れて水禍もない狀態で海運炸は大 年果等の用荷も本年は温暖に恵ま ■あり預金の

預金增貸出減

府岸の海運市況は本中に入つて内一領一場五千二百六十七百五十

温暖に惠まれた南浦

書の移人は杜伽したが来の移出が

よりの冬飲同雅信及びセメント

田總額二郎一千三十六色、千回 して之を十月末現在に比較すれ

創立三十有 餘年 音樂講義録です 本會出本唯一。

變简北道

蠶種

業組

職員一

同

脚里凹合所滿見

1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 10

同

英店長 村

 \mathbb{H}

井久竹一治

ハーモニカ

保次

七川 支所 融 租合

金學度百貨店

企

P.

 \bar{v}

ψ

新華納化株式阿拉州里工學 本林 (海馬三四六番)

內俊

寧邊崇德學校

田中米三郎 新田 竹 治

禮山 營業 所即有人 一體 山 營業 所

田藤

浮

寧邊市務署

·[]

同

アソカ幼稚園

從つて配偶問題を改き、婚女

そして上級に

下らぬものを見ないとい

農村を更生させる

漁礁研究に新發見

遠洋と近海の中間に着目

注目すべきものがある

らずで、附近漁村の組合的組織にを減少せしめる頂れ無きにしるあ

ある。昨年茅ヶ崎と大島の間

宮中新年宴會に召された文

当断組合融合館の十一月末預在に

のであるが、民度、教養の用

よつて切り聞き、これを有効に利用することにより適種の概定に費することを数へ一方、運動得るに至った即も氏は並洋と沿岸との中間に続された魚介薄額の豊胖===-漁職を科學のメスに

の地質型的研究によって我日本列島の成生の秘密をも併せて解明しようとするのである。日本

まぐろ、かつを、ぶり等の經濟医 となつてゐる。この海底の山は、 のに、周頭は直ちに千米もの水深| その頂上は三百米位の水深である

島の中間に位する長で一般完は日本別島の成立過程を解く

にも亦動だ興味ある財象である

これら 確実上の利益のみ

有力な資料となるであらう、かつ

てある、これは海豚に炭斑した針きなものが既に二十以上酸脱され

| 無語まで集まつて来て非常な漁優 それには火山性のものと、地質愛

動の質に成生した地場流画と二種

う呼ぶつ 等は正にその好例である 吉礁(延見した船の名をとつてか 大漁をするのである。數年來當業 こゝに網を除ろした漁船は思は内 者間で砂能となってあた直洋の日

> 洋漁業と沿岸漁業とが手をつけた れてゐる、斯くの如く、漁礁は遠 七里福三里の大和堆で、起近こと

4 男、能量学島、北倉島、七つ岩、佐渡 ものと考へられるものに登板、對

無個の課題となつてある。所がこの課題は疑らずも一新進な影響野虫氏の確究によつて光明を

3就達から取り避されて峻戦のどん陰にある逃討を如何にして振興しむるかといふ問題は一般暗不況の逃を戻つた臨山避村のうも、蛟に強勝高の越党による嶽岸伽栗の寇策と遠洋

て国民産位向上のために あらゆる施設の敗善と、

船に回を潰んで定める所調梁優が あるが、これは沿岸の地先きに膨

> 體 體東 禮山稅 稅署 支銀

> > 允

福

滥

邊

廳 同

唯 員 一

同

二郡

職

員

體山大聚金鐵 禮唐酒造組合 金 柄

前田吳服

吳服店

職員

同

小學校

大日本家庭通

紫紫體山出張所

職員

司

職員一

同

及警察署職員一

Ħ

裡里鐵道懇話會

脚の(皮をむいてない方)質析が脚定して費ひます、當てた番には 遅ひのない砂法があります。そ をする時百銭百中、萬に一つも間

側は六三級GC局面 色 47 ▲ 門設 △六段 华华华 野 和

八段 金金易二郎

飼料理

曙

相を裏書

よく戦はうとするには勿論これしかし、九八飛と春の暇を組ひ

腦料雞

喜

J

美

電話 一七七

元八飛の方は守勢に傾き進ったが純理的方面から考察すると

料理七

蓝

質質本位昇降段新規定 大轉換機來!

ものであつて、結局真撮の換倒し 方がない単例があります で決められるのも数 若い時は湯

らされる目むなき海隣に就ては

問題の中にその服因が新都思想の

るへタをそつとはがし取り、そ

響 大

電話 | 二一番

手術後は多くは切断せられた度。 瀬戸病院長 なるとなくなります 段い間に発荷する事が多い、強約 [答] 潮戸病院長 も一ツの厚腹は臓結核や異結核 がよからも、野通あるのは左程 一般いものではない、手術ーた 阿科理 久利屋號本店 魚

六銀上り、何れはこの矩用の一急ぐ必要もありませんか、一合日は建部六段の丰音

緍

阎

| 一般 | 一般 | 治|

村 小 申 口 Œ

林質質 井邑自動車戲 新泰 懇和會

·壤放 送 局 井邑運 A 平 字 均

人三八番 Acres and

朝鮮運送株 定 會社

ES.

京春鐵道株式會社 出場所長八 木 張所 **公** 州

久 野山 本 島谷直

直方 公州邑山城町

豊富にふくんであるが、 タミンの人・日・日を比 特にしは他の野気にふくま

失はれることが比較的少いの

の成分

【問】二十五歳の男、二ヶ月

いかりタクシ

原

H

貞 輔

平壤府鏡齊里

宮

 \mathcal{I} L

楊州郡縣職員一同楊州郡縣職員一同

木材商 李

滨

植

五店

お領にかける事は及ばないでせる です却で倒の配置な人に発いです

岐陽

更生

會

励會

井州校長會

湖北町

電話四六九5F 配 配

大冷燁

達城券番

潮戸病院長

的智料器

明

噩治

屋

成分は緑色の部分に

に經濟を任せては心もとない」 と若夫婦は「はげみ甲斐かない」 です、双方の言ひ分を聞いて見るの題が時かれて家庭紛爭を思すの 機師さんは「若いもの

のなら結婚してもいっと他面もな 希望に添へないわけです、一方のですから、地方からの相談に

わる。そして七、八個のあてがひ 収入や月記は醤雨観に取り上げた 細が一生懸能働いても毎月あげる で、其確的に言ひますと、若い夫 動実が脱々と多くなつて来たこと

北新四一 四番

四

H

會

咸南三水郡新恕坡里

木材商

姜

氷

駿

電話五六四番

棚料理 玉玉

屋

御料理

ほ

んだ

市温二四一番

萬

鶴御帳師五眼

無慾で樂天家よし が正規た長生の

ホンヤリしてゐては不可ない◇ 法

那瓜な方々が良生きなされて居

お手本ですが戦取の意象は 幽ぎり親子

りつく歯を喋み鳴らす癖があり間。 當出すご奉ごすが、復展

(28)

基

はいけませんが最もまめり

赤

M. 日

會 官民中合會

咸南新乫坡鎭

朴 慵 煕

木材商

咸南長津郡真坡里

石隈 信乃雄 形裁スス〇番

尼豐 金 曜

會

郡 廳

醴

[ii]

忠南公州邑 公立學校職員一

職員一同 公州郵便局

食堂員一同

理事 **朱** 田 公用在動中の御以前を動す H 勇

磁員一同

議政府支店長

. 梶 田 井州農業倉庫長

廣

市の気はひろがり、早くも新市街 りこのやうに沈微し切つてゐたが 甲の類似の中心は土木建築界にあ レンが響く、海を越えて北支方面 際に置り出で、 国安の波に乗った野鹿品が洪水体 の異常の服飾力ともいふべき仁川 昨秋得望の所職区域の撤退を賦行他都過を見ららしてゐるのだ、 は新興推都として飛階級部の第 過出、まさにク朝鮮の景楽は 迅温するク解産品々の樹唱りが してゐる、生島産業界の窓、港都民自らの手によつて行はれでもと 作流をもつて北支市場を筆頭に からグである。何といっても今 の狂いで能産品の食止めに翻起 設か削減され、それはまづ新州 は都市の面目を卸かせる各種の 川々こそ、この明るい朝鮮の 経田で世界の関へまで飛聞作進 組成に一致の批判をかけ飛馬 推都に川は一時古い因習のと 北解開拓、郊設インフレ、 頭ましい新興朝鮮の船出だ ・
財
支
外
交
不
安
の
風
を
よ
そ 北支方面では、折日の風を暗 一途をたどる



[1月] 柳旭の春、昭和第十二年 人は館館河加により完全に喰む「現、観光施設の元質等々、仁川に | 士二巻を飾り景高の景息は荒い焼きしかし綿織物の | 和の製券を残行する計費を指 | 61川底ドックには二干トン機の担称不服のため二関九分の減少 | 1水の製券を残行する計費を指 | 61川底ドックには二干トン機の担称不服の比較を受け一寸三 | 方所の修算は耐鹹吸の機能で 「規物船十隻かどつと押し告せドラ祖外の影響を受け一寸三 | 方所の修算は耐鹹吸の機能で 「規物船十隻かどつと押し告せドラ祖外の影響を受け一寸三 | 方所の修算は耐鹹吸の機能で 「規物船十隻かどつと押し告せドラ祖外の影響を受けている。

だ、ともあれ昭和十二年は関

平の三氏に陸軍省から贈られた表

初日

出を拜む

髒 芙 蓉 和 信 連 鏡 二京遊線平澤縣前

電話二十二

田

次

郎

秀

雄

京城府南大門通三ノ九七

富

田

商

會

密陽產業組合

默賢高橋新太郎 密 聯 W

城大と早大學生隊の壯舉

半島山岳史を飾る

田中佐出席、北後四川単蛇の功労を発行、歩兵第七十八碳略から武

下五年にあたるので郷軍仁川分會

[二] 四日は軍人動釜城下脳な

|十七通で | | 割九分増、 小包は | 五風といふ薬罐を示してゐるので

厳寒の冠帽山頂に

は年前十時から公司など春秋云

クは函数状態で幸さきよき昭和第

南万新一の四氏には鈴木稲東南 一佐が代地となって投具した

よりの表彰版と流を同じく武田中 **筑澗敦七、代田紊治、今村是次部**

清州の年賀

题:一十四日數 1局數山並產業品票

内初部山林郡長を命ぐ

佐藤 信一

A 内有部果粉製物粉を伸す 内有部果粉製物粉を伸す 同 食用 自用 企

職員

同

會寧郵便局員計

井昌田県所長 森國美

商館記念株式資配

企事 信領

同

同

河

臨

髓黄州

果樹園

京城府西四軒町

九二

穗坂秀一

南

山

莊

道及于津谷字米三▲同家人英夫道屬川畑良信▲同御並初義夫▲

▲同数版到次▲同位股以一

能に早大遠派職十旅名は別

高く新春を滞ぐ大日童院・世界た

「特別な新工作日」と正式符(1)家まで目がひりここ月をしました。 | 内が形面架線集動を発する準制 | 冬室に緩然と繋ゆる北部 | 下山した、殿冬期における管頂記 | 内が形面架線集動を命す

師る壯雄である

咸南辭令 (1月18)

の間間の急気に集まれ入選に城大 |諸根標高||下四||米冠精解の頂|

藤氏に窓内されて朱乙暦、二十七

た機軍の基金に多額の各別をした 一般状、畑を、また同じく分質への 教修狀を武田中佐から授取し、*

0

春朗らか

屠蘇の香漂ふ港都仁川に

半島の新春

を謳ふ

最高の一般として断民に認識し

達は二百十六通で實に十三剧五分 | の金額は六英一干二十九回で四別

百二十七口で一期四十四川で、

四分四厘項。貸春は帰出か一干九

れの種目も適増したのは前州の市

平澤商業組合

平澤出張所

浦

邑

密陽警察署

大邱西工銀行自己完全支店

整**多密陽科米所**

二闰非而艮

金

想

均

田池田有蝦

帮米工學 主任 **李河善** 数 物 都 主任 成 周 漢

分増、年四階報は三十一日まで

地、書留郵便は十五日から三十一 終信七十七通で二割四分項。同能

中四中で「関下分七里で、その金 直続会新築によるヴェッケー 頭は平像一千年では、その金 直続会新築によるヴェッケー 源は四島一干七百五里で二州七分 居してゐると見られてゐる

例針京後線平澤聯的

坂井商

朝鮮運送其會社

郵便局

朝鮮運送整會社

李丰

東

N

密陽營業所

同

電話十九架

七世李 成烈

貿易は激増し土木建築界も大繁昌

代金十五四五十銭を風防献金とし 【三川】軍國の春に相関しい國防 て仁川巡兵分配所を通しておくつ の手にはめてみたが前部の記を想

府民々と記した姿なき受回者

加を水してゐる、各部個祭總領は 合せた本年度實行修算額三百三十 西国に比べて約四、五十四世の増

地方減長の否定は遂に年内に間に

れは豚漁艦に引つかいつて各に反しさほど膨脹してゐない

『皇皇の御繁榮、御安隆、日本三山西、仁川四共分賦所に 添掘に寄せ、二十個の局替を同封 一松の内、磨酥の香が何に頭

PHT は頂肌によると十二月二十三日金をみる。の図明献金が投げこまれた、呉杏

地町茶谷間高さんはお父さ

んと言語にあたり金十四を仁川勘 兵分結所を通し國防軍官

てよいか態度にむせんである次。 からなんとかして操し出したい。引髪十七郎三千三百八十六通三明民の愛國の赤敵に唯なんといつ。 そのまゝにするには忍びません。平門郭便は二十九日の稲頭加まで段封として、避ゆることなき府。 第です、かくの如き匿名の方を。平門郭便は二十九日の稲頭加まで 相つぐ献金美談

全く概手古舞ひの形であつたが、 段は文字通りの服時状態に置かれ 【清州】年四郎使の殺到で清州局

稀有の現象 日来る總統二十名の人犬を使用し

行途に入り、元朝殿窓と搬ひなが 一日から愈上部頃のキヤンプ前班で三日後級機能落生他詞に入り州

這▲産業技字伊藤貞一▲同士母

川野有命▲地方産※技

川口正光《同主

及飲◆同李壯石▲何姜納珠人

▲同金均鎚▲同李卑歌▲同上町地投越▲同役勝翁坪▲同京僚任次▲同

井邑

警察署

愈靈稅務署員

料理日 全北非邑 ()

澤

E

稅

務

署

春

聖 見 見 見

前 龍一長五五一番 H

會合 心資

京城府漢江通三番地

緊縮方針に縛られた各課の要求額

| 方跳へ田揃った、各部要求總領は | 巳むを得ねものく外はこれといふ 三百七八十萬圓に上る 經常設において自然増加を来した 目屈しい新規事業も企器せず唯。

尊徳翁の立像

川の篤志家が

との影響を開始する部である た。めかく膨脹してゐるに過ぎない (千株一株五十個)にて翻覧成立 (年代としていよ)、資本金五萬、 男氏を 取締役に就伝さす こと

異へてゐるが、龍岡小學校には同な一手能名の兒童に無言の期頭を 語小校には鎌徳島の前限が国际夕 | 行を併日の県校生活のなかに載り 【三川】童心に精神作気の真っを

じ街の同じ小樹枝でもそれに比す | 一般 一庭に立保を移し、児童に何夕着工人學校と相談し間河小学校の 過患を思ばせの不言意思ののこ 明太漁下り坂

最高一月子三百五十級を押に叩 はすつかり下り坂となり、が均 【異角】西湖地の明木温光は全場 平澤稅務署

貝一

同

會

寧商工會

井邑學校組合會

邑

井邑家

集組合

域じ大塚治三郎氏か三百株を持つ 日動中野社は日本政一氏が長候が

國境の闇に彷徨

暖い正月を迎へた育英寮に

力强い更生の步調

風水」紛糾に紛糾を重ねた風水

麗水自動車

れた人生後三時三十四分酸の列車 で盛んな見送りを要け入營の道道 ででなった見送りを要け入營の道道。

日動北巒町は魔本は一氏の長校師 本 特女 [編版] 自動北巒町は魔本は一氏の長校師 一次 特女 国版里集第一島長郷産工版(大塚道)部氏か三百様を持つ 、長は島長線に過する単簡自来三十級に大塚道)の サシ里内の 類足数音集観として出版ととなり、先孫養和の原田哲 一時 1 た

澤 貝一

會寧材木商品

貝

愈

館面電

貞

雄

二浪洋運送台名會社會經濟三流經濟三流經濟

初等學校

學自然物經費所 甲

甲邊際推

繁然

新期前月日**间珠會社**

日三百駄低で同声も称しくなつ

忠北辭

亦

支貨 金 宅

邑

郡

廳

神代和

同

武安崩長

具

槃

H

>無言の師・食徳翁の立信に思る

朝鮮麵子醬會社 會寧營林

井邑

金曜

會

大邱商工程 客陽支店株式 魚 祖

Ξ

宋海

ili ili

生

平澤酒造議會 於遊攝成題平澤面 スズキ樂器店

愛館 [七川]六日からご

シネマと演劇

^整人 李柳 赴長

鮮興業或會社

市人工會

貴

州

支

店

少年で英兄は五

名は所民の要き競技に生れて初め 収容された語る遺なき少年二十六個を力量く物語った、一方同衆に

敞郡守 崔

洙

LZ

世界的流工系校式會社 会員員並 東大國語工業所 会員員並 東大國語工業所 株式資社 有二級語工業所 株式資社 有二級語工業所

外 員

同 清晰 和号台

久

壽



館に驱んでもどの蓋皮を食用するだ、時折程学の

人現八千萬人の人大群を動戦し山は三億個の巨額に上り、この中一 高することになった。
吹色の資金は半島の関から関へ沿

この中語記覧に充てる作業。五九千

けふの天氣

トはかりに個天してある。 ・対かりに個天してある。 ・対省の超記録、黒空景楽は大変。 ・中年度に比較すればに開バ分の境 ・対のは観天してある。

生学島に過程く今年中の諸で専以一

管底をひきつれ大道院の間の大で渡つた光楽を持つ間の大

昨秋京城名物の近江橋の彼

裏のテルエさんを呼び寄せ

得かたのしみで一日も た好々並の酸実即さん

景氣! 景氣?

を励れ、老りることを励れ、親け、居留民職のために私

のテルエさんと手を振り合

に贈る優沢郎さんは今年七一語

日が大臣平出

の耐能を切て、特に近難を刑事

み、整務局では米半度要無機だらし、"悪療な政策諸郎に顧告がぶられ」下児院でで結果し、名質ともに生語無法師の強化式作は着々と証し説明が卒の問題で無用の勢力を起しもとより江内斉緒の驅散りもで 名の醫療官を領域企動に配置する。てあたか、今夏新たに組織される。代據低限級の范費につとめること

下河はって往来し、名質ともに近

全鮮警察陣に新機軸

原城のロメン陣容の理想は卅五を

ること、し、趣に城大及ひ豫城附羅海院を曹魯振殿すること、なつたを着世しむるため都写に職(当)さるを発質し、水脈海鷹に職(對)を兼談、法域を清澈上に教理としむるため都写に職(当)さるを発質し、水脈海鷹に職(解科を兼談、法域を清澈里に移植せしむを)を持ていた。海にこれと兆に城門線仪の内容 等校を各一校、高朝仏輿改二校臨光娘改三校を新総するととなつた、何にこれと派に咸門娘校の内容と郷だし、頭に初辞殿校職だに伴つて由等庭校則も職業療校、商業院校、申院校、師範娘校、高等聖通

○海鹿・黄海、馬北の三道に破る戦を、各道に二名郡二十六名と歴ぶを配備して建建開墾を手する跋取りとなり光づ初半度に初寒襲故の方で一年二百二十八里級の大将即を行ふ一方、 松光質計造生了により更に之が信用指元計数を切てた明務は局は愈よ昭和十二年度から

若妻の踏倒し

釈唆した裏には、採い失敗で生活。 済まぬ次命である」地位に母ながら俺か五百週の金を 知らずに使用してみ地位に母ながら俺か五百週の金を 知らずに使用してみ

のステーデにその若く美し 九日夜七時から京城所民館

一般を見せることになった

ま子婆は愈よ本此の描え

姓べの大人気で、ほま子でが、大連では日延べまた日

がらがつて否定する「《忘 名思れらやいやよのメロ

ノンに取り聞きれながらや

とのことで軸を振り切つ

臨時列車を増發

暖氣に化曳笑む鐵道

ザリーター ポート・スパニョラ、上海リル、ラ・ロ【ひ】 獨唱 - ラ・スパニョラ、上海リル、ラ・ローか、荒城の月

これたが古門か何能信託の優要な

関重に取割べに伴れ途に選定、本

犯行と思ふ

渡邊はま子さん

プログラム決る

美他一般皮膚綱の真薬 ●にんきんディーし ●にんきんディーし

病らむ

日(土)夜七時

は更に(一新姫地に並みた

だプログラムで、作奏は新 の人々、なほこの顔の剣術

鮮京機道京城府宮平町豊富地ノ
垈凱萬宮拾四坪七合

※ 市口傘内

府真洞所な番地ノーラ六拾巻が一百六拾巻が一百六拾巻が

特別でできる。

,一朝鲜式木造瓦篷平家站宏超止展 整棟 建坪城当八拾八坪五合五勺 ,如鲜豆酿造京城附第 7町 宣语地 /

明鮮式木造瓦許小家站水路投資

科·

東京會認定逐音店

翻鮮京龍道京城府貞詞町五番地ノ建坪八拾七坪七合参り

朝鮮式木造丘路平家如咸學殿整

期鮮式木造石質中家健中和殿壺

立合語の七字

建坪百机给中参台参勺

△ 整理 平 四 子名 公 本 三 を を 日 四 子名 四 子名

谷朝信社長談

署の疾風形電視な活動によって 殿は前機運帰に送られ佐田機

底的の擴張充實

學務當局の積極計畫から

法専に

清凉

府民の枕を高

刑事隊な編成

曾有の金塊大品輪導性は、總質府 罪名で起訴、算器に強附されたが

常備し仕事に棚しては京城府内は一幅を生じものとして非常に期待さ 金塊密輸を種に 一幹部を恐喝 にたり、全部の理事無察師に新機

一角的影响

◆田二郎 [△] 獨唱 私の太陽よ、ドリゴの小夜曲、陰け

會員券

全國綜合體球

▼京城に特朗の助力に入のをいは 東 北 1 {0.....0}0 京 城

一位已加级 ナンゴクトクサンデス













社 員 の外親が時々地方は 地人幹部性過ぎとして当下疎放性 地人幹部性過ぎとして当下疎放性 地人幹部性過ぎとして当下疎放性 がありた。

禁配 記者・おり作品を開発を開発・おおかり、生きでのが関係が開発・対象が開発を開発・対象が関係を関係を関係を関係を関係を対象がある。 且的交通戏剧业

希望者は八日午後一時一三時自筆

北千東町(電話法原 英宗・翌週)

科等學校

見

イロンノデル タノシサ マンテッ・

元朝鮮信託の貸付部長等 **懷舉遂に起訴**さる

上完成を急ぎつくあつた大郎飛行党を港として昨年次片初旬から起

等。回答館が路を歴史せしめるだ。映道路不豫順に催覧祭言

なは大手飛行場の完成によって内局品間で計畫中の大郎、下郷り毎

峽連絡空輸⇒有室

25人権大統領!お来の大内容

全普成勝ち

けつなく、腹牢の頭から内壁両常 の点域を影響をする光掃、大部間一に重大な使能を帯びるものである質調回総無公路を歴史をしめるた 練進路を輸航に催転差 (で)起電中 (35)雑生は、脱熱な臭糖(服)れため

作の地域を買収、四角回の下事。 握は、地元の雰囲士再回と起回局

の道場を飾らり 日底三部三郎之内

燃料絕對節船劑(煤煙防止)

....

〇石炭類一切〇重油パーナー

煉炭〇木炭、木炭型煉炭〇薪材類一切 〇コーケス、コーライト、無灰炭〇豆炭

西子但「新」店上限る 一德科學研究所 大阪市外高規可 大阪市外高規可

(O分 今日の天系見込 衛野支 (一) 傷質者一郎 中 一 放 送

越野榮松 外

П 衙

Androstin てしと劑ンモルホ性男の位本力効 し高も最用信に界藥醫の國各界世



障害を恢復す 防し神身の衰

退に件ふ路老衰現象を

中出版外に注射的六位人及五十位人あり なべ念十一個五十銀・17百五十姓人で二 なべ念十一個五十銀・17百五十姓人で二 學工業會計日本學術部より到是 内外醫家の實驗報告は大阪市面

共三・居島・新西小區橋本日京東 店約特 店商衛兵長田武 🏰 元寶毅店理代線本日

アルモン

トステロンの外維性生殖腺中の全有効成分を包含す)

世 六日

義院

10世紀 被下度候 九日廿四日十

二段切手封入中込原則循是 京城安全町六丁目(如裸院前)日助車ヲ學パントスル省ハ他ノ羽他ヲ許サヌ本校(※レ賞書旗陳賢申シニニ台

一日廿四日廿六日十四日

金 山 出 W **鹽哨京城第一自動車學校**

側立大正八年の京半唯一ノ正式學校の正式以製物館の近大元年會社教授の政備完全の夜間教授部ノ便ブリー生命の政権の対象を対象を対し、東京の政権の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を

士 砋

製 菓

森

汞

t

新

776 52

スキーキャラメルこそ多の

わら

か

65

スホーツの快味を満喫さす禁養です

一圈 五兒・十日